



安全衛生方針

当社は、体系的・組織的に実施する労働安全衛生マネジメントシステム（TAISEI OHSMS）を安全衛生管理の基本とし、働く人々が安心できる安全衛生環境の向上と整備に努め、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業を目指す。

1. 「第三者災害・火災・重篤災害・重大事故の撲滅」

企業の社会的責任を果たす上で、第三者災害や火災、死亡災害をはじめ重度障害となるような重篤災害、社会的な影響の大きい重大事故の撲滅は重要な課題である。

全ての関係者は、当事者意識をもって課題解決のための計画を立案し、その計画の周知及び実施状況の現地確認を徹底する。

2. 「安全衛生水準の向上」

当社は、労働安全衛生マネジメントシステム「TAISEI OHSMS」に基づく「計画－実施－点検－改善」（PDCA）のサイクルを適切に実施・運用し、リスクアセスメント及びこれに基づく必要な措置を行い、職場内のリスクを確実に低減させると共に、作業所及び工場関係者の安全衛生教育に努め、継続的に安全衛生水準の向上を図る。

この方針のもと、当社従業員及び専門工事業者は、労働安全衛生関係法令や会社の工事安全衛生・環境管理規定、安全・衛生基準等を遵守すると共に、それぞれが培った管理技術と安全に対する熱意を結集し、「死亡災害の撲滅」はもとより、全ての「事故・災害の撲滅」を目指す。

2026年1月1日

大成ユーレック株式会社

代表取締役社長 青木 卓